

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	ステージシステム2	
科目基礎情報					
開設学科	音響芸術科	コース名	全コース	開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位			授業形態	講義
教科書/教材	参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	山崎進		実務経験の有無・職種	有・レコーディングエンジニア	
学習目的					
舞台機構技能検定3級相当の内容を中心に学習する。 演劇用語、舞台設備、コンサートなどの音響技術全般、各種楽器の仕組みと音色の把握ができるようになることが主な目的となる。 音響機材について、スタジオ使用、コンサート(PA)使用、それぞれの使用目的・使い方の違いを理解する。					
到達目標					
音響のエンジニアとして様々なイベントへの関わりを持てる知識を得ることが目標である。 録音(レコーディング)だけでなく、各種イベントに積極的に関わって行ける事を目標とする。					
教育方法等					
授業概要	PAを例にとりエンジニアに必要な事柄を学ぶ 後半: 舞台機構技能技師 3 級問題集から学習				
注意点	この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。社会の動きや大学生の状況などを概説するので、自分でも、情報を収集し、起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。ただし、授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	80%	試験を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1 回～1 5 回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1 回	音楽の基礎1		音楽の三要素		
2 回	音楽の基礎2		生楽器を知る		
3 回	音楽の基礎3		電気楽器を知る		
4 回	音楽の基礎4		楽器を知る/映像講義		
5 回	音楽の基礎5		自然現象とピッチの関係		
6 回	音楽の基礎6		電気音響との関連性		
7 回	音楽の基礎7		音楽とミキシング		
8 回	音響機材を知る1		マイクロフォン関連		
9 回	音響機材を知る2		ミキシングコンソール関連		
1 0 回	音響機材を知る3		パワーアンプ		
1 1 回	音響機材を知る4		スピーカーシステム		
1 2 回	PAの実際1		ミキシングというものについて		
1 3 回	PAの実際2		映像講義/著名な公演例など		
1 4 回	PAの実際3		PAの歴史と変遷		
1 5 回	総括・まとめ		ライブ・エンタテインメント1・2まとめ。国家試験 舞台機構技能調整試験について		